

① 基本事項	計画コード		22094		事業名		地区コミュニティセンター充実事業		評価分類		B2		
	事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()										
	施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化					予算科目目	会計	01:一般会計			
		基本施策	01:自立した地域まちづくり活動の促進						款	02:総務費			
		施策の方向	02:地域まちづくり活動拠点施設の充実						項	01:総務管理費			
重点プロジェクト		02:「まち紡ぎ」プロジェクト					目		11:自治振興費				
事業期間		R 4 年度 ～ R 5 年度		主な根拠法令等		亀山市地区コミュニティセンター条例							
② 事業概要（P）	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)			事業の目的(どのような状態にしたいのか)			事業の内容(どのような取組を行うのか)				
	耐震補強工事が実施できない旧城東地区コミュニティセンターの代替施設として、現在、民間の建物を借用し、城東地区コミュニティセンターとして活用しているため、それに代わる活動拠点施設を新たに整備する必要がある。		城東地区まちづくり協議会			新たに整備した活動拠点施設を活用し、活発な地域まちづくり活動が展開されている。			市民協働センター敷地内に会議室、事務室、調理室、物置を備えた活動拠点施設を整備するとともに、既存の施設も活用する。また、旧城東地区コミュニティセンターを解体し、跡地を新たな施設の駐車場として整備する。				
③ 事業の実施状況（P・D）	年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
	事業計画		○城東地区コミュニティセンター建設に伴う設計業務、地質調査業務等 ○市民協働センター改修に伴う設計業務			○城東地区コミュニティセンター建設工事及び付帯工事等 ○市民協働センター改修工事 ○旧城東地区コミュニティセンター解体工事及び駐車場整備工事							
	活動実績 (計画通り実施できたか)		城東地区コミュニティセンターの建設と市民協働センターの改修を一体的に行うため、城東地区コミュニティセンター建設等工事の設計を行った。城東地区まちづくり協議会と協議を重ねながら、地域の意見を取り入れることで、活動拠点施設としての利便性、機能性を重視した設計とした。また、城東地区コミュニティセンター建設に伴う地質調査を行った。			城東地区コミュニティセンターの建設と市民協働センターの改修を一体的に行った。また、旧城東地区コミュニティセンターを解体し、跡地を城東地区コミュニティセンターの駐車場として整備した。地域の活動拠点施設であることや住宅密集地での工事であることから、地域と調整を図りながら円滑に工事を進めることができた。							
	計画額	事業費	事業費		12,600千円	7,500千円	121,300千円	119,800千円					
			国・県支出金		0千円								
			地方債		0千円								
			その他		9,400千円	4,852千円	101,200千円	100,100千円					
			一般財源		3,200千円	2,648千円	20,100千円	19,700千円					
	決算額	事業費	事業費		6,312千円		109,985千円						
			国・県支出金		0千円								
			地方債		0千円								
			その他		4,352千円		92,434千円						
			一般財源		1,960千円		17,551千円						
	①期間内計画額(R4-7)		133,900千円			②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額		133,900千円		

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	119,800千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	城東地区コミュニティセンター建設工事		成果		計画値	設計	建設		
					実績値	設計	建設		
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	新たな活動拠点施設を整備するにあたって地域との協議を重ねたことで、地域において当該施設を活用していこうという機運が醸成され、今後の地域活動の活性化が見込まれる。また、旧城東地区コミュニティセンターを解体し、跡地を城東地区コミュニティセンターの駐車場として整備したことで利便性の向上が図れた。更に、市民協働センターの外壁や屋上等の改修工事を行い、施設の長寿命化が図れた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
城東地区まちづくり協議会	新たに整備した活動拠点施設を活用し、活発な地域まちづくり活動が展開されている。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は終期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定		A		
事業展開	継続(現状維持)	完了		

1次評価者	市民文化部 まちづくり協働課 地域まちづくりGL 高野 利人
最終評価者	市民文化部 まちづくり協働課長 原 正一